

蝶結び・箸の持ち方について

幼稚園では、年長組になるとお弁当袋のひもで蝶結びをします。以下の結び方で行いますので春休みに確認し、練習しておいてください。お子様の様子を見て、ひもの長さを調節する、左右のひもの色を変えるなど、子どもたちが分かりやすいように工夫してみてください。お弁当包み同様、園では練習はしませんので、ご了承ください。また、年長からは箸のみを使っての食事となります。持ち方・使い方を確認し、こちらも一緒に練習しておいてください。よろしくお願いいたします。

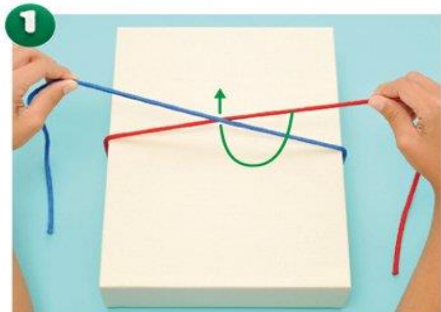
ひまわり

ちょうむすびをしよう

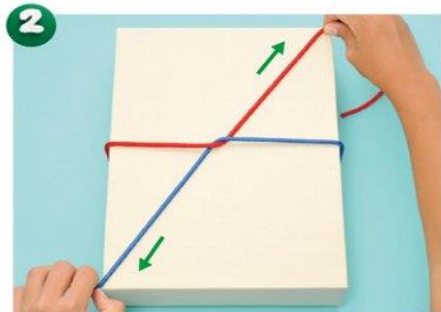
ちょうむすびは、ちょうちょの形に仕上げます。よくつかうむすびかたなので、チャレンジしましょう。



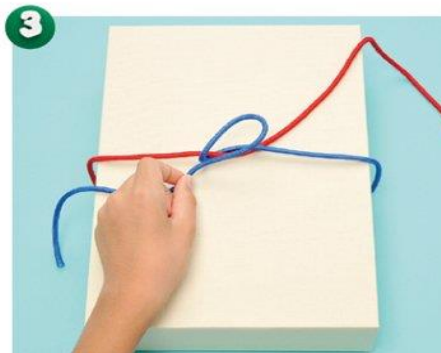
むすびかた



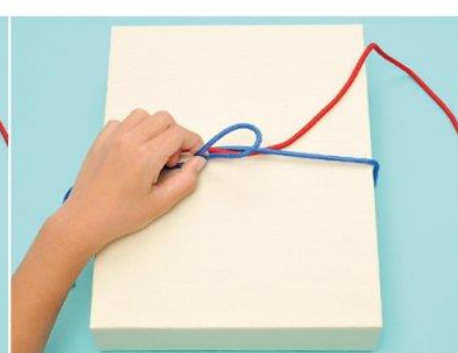
1 青いひもを前にして「X」の形にする。赤いひもを前へたおして、「X」の下にくぐらせる。



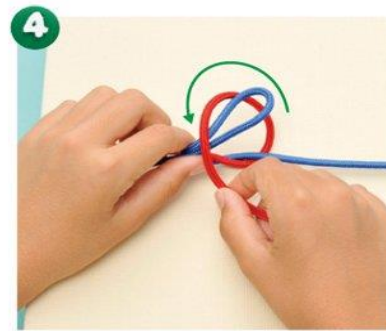
2 ひもをななめにひっぱる。



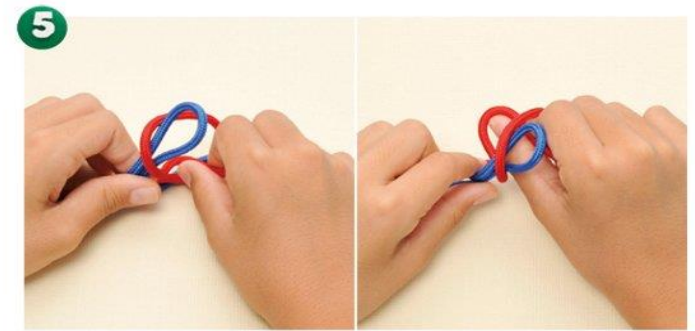
3 青いひもでわを作って、左手でもつ。



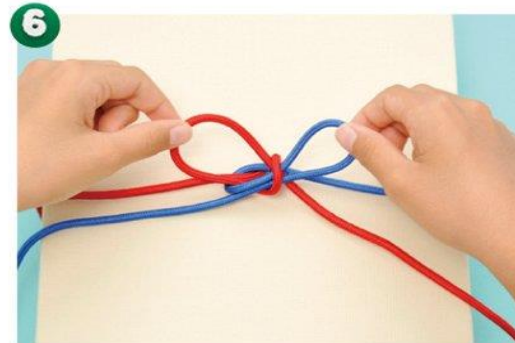
体験につなげるヒント ちょう結びは実際にする機会の多い結びかたですので、できるようにしておきたいものですね。上達のポイントは体験を重ねること。靴をはじめ、小さな子どもが使うものはひもを結ぶ必要のないものが増えていきますので、おうちのかたの靴やエプロンなどのひもを子どもに結ばせるといいでしょう。



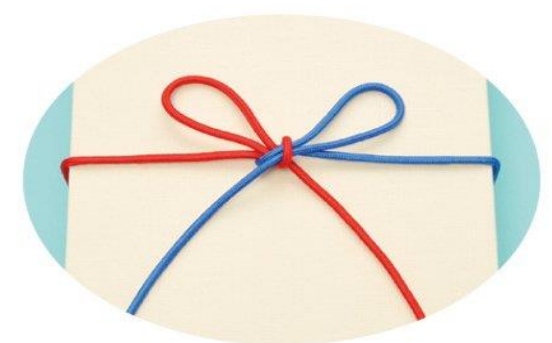
4 赤いひもをおくから青いわにかける。



5 かけた赤いひもを右手の親ゆびで、赤いわの中におしこむ。



6 できた赤いわと青いわをもってひっぱる。



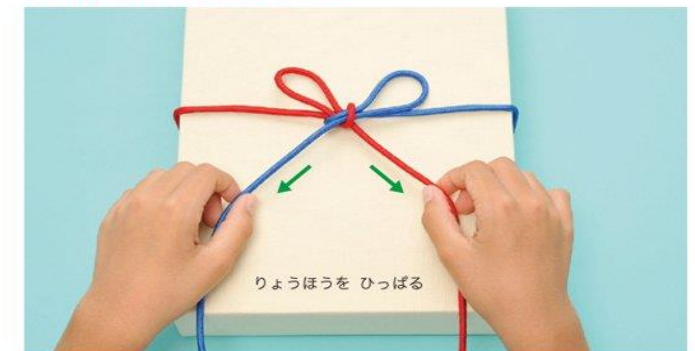
形をととのえたら、ちょうむすびのできあがり。

きをつけよう



4で赤いひもを手前から青いわにかけると、わがたてになってしまいます。これはまちがったむすびかたです。

ちょうむすびをほどきたいときは



りょうほうをひっぱる

ちょう結びの別名

- ちょうちょ結び
- もろわな結び
- 花結び
- ボウ・ノット(英名)
- リボン結び

「片ちょう結び」とは

ひもが短くて、ちょう結びがしにくい場合に使う結びかたです。上の手順の5で、赤いひもを端まで赤い輪の中に入れて押しこみ、青い輪と赤いひもをひっぱって結びます。

◎巧緻性  
◎被服(家庭科)